



フューチャー イノベーション フォーラム

2009年度 活動報告



本活動報告の表紙について

フューチャー イノベーション フォーラムは
2009年度も様々なプログラムに取り組みました。
表紙を飾っているのは、この1年間の活動に
参加してくれた子どもたちの、たくさんの笑顔です。

※右上のピザ…「KIDS 調査隊」で子どもたちがデザインし、焼いたもの(右も同様)
※中央上のワゴン…「KIDS 調査隊」で子どもたちが夏をテーマに考えた陳列
※中央の年賀状…「パソコン組み立て教室」で子どもたちが制作



「真夏の太陽」ピザ



「ミラクルデリシャス」ピザ



「スターメイン☆」ピザ

Contents

■ FIF特別鼎談	P.2
■ FIFについて	P.4
■ 2009年度の活動報告	
■ アドバイザリーボードミーティング	P.8
■ 運営委員会	P.8
■ 会員様向け企画	
■ アドバイザリーボードインタビュー「Future Wind」	P.9
■ イノベーションワークショップ2009-2010	P.10
■ イノベーションワークショップ2008-2009	P.12
■ イノベーションセミナー2009	P.13
■ 書籍『ビッグトレンド』出版	P.13
■ キッズ&ユース企画	
■ 企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」	P.14
■ 物流の最前線	P.15
■ エネルギーの最前線	P.16
■ 医療現場の最前線	P.17
■ ITらば	P.20
■ 出張授業	P.21
■ ワークショップ出展	P.21
■ パソコン組み立て教室	P.22
■ KIDS調査隊	P.24
■ スーパーへGO! in 新潟	P.24
■ 職場体験学習	P.26
■ プレスクリッピング集	P.27
■ イベントポスター集	P.33

FIF 特別鼎談



フューチャー イノベーション フォーラム アドバイザリーボード 特別鼎談

ウシオ電機株式会社 会長
FIF 代表

フューチャーアーキテクト株式会社
CEO、FIF 代表

株式会社ローソン 社長 CEO

牛尾 治朗 × 金丸 恭文 × 新浪 剛史

■ 経営哲学が見えない日本 ■

金丸 2009年は鳩山政権が誕生し、日本の政治が大きく変わりましたが、日本の社会は変わったと思いますか？

牛尾 あまり変わっていないように思います。政治に変革は起きましたが、経済では民営化も規制緩和も中途半端のままです。高度経済成長期に確立された制度、たとえば年功序列や終身雇用などを微修正しながら今日まで来ているため、雇用をはじめあらゆる分野でゆがみや破綻が起きています。成熟社会に対応したシステムをつくる必要があります。

金丸 バブル崩壊や金融危機後、成果主義の導入や株主重視の経営など大きく流れが変わっていくなかで、礎となる経営哲学はどうあるべきかという議論が置き去りになってしまったように感じます。

新浪 先日ある国際会議に参加したのですが、いま松下幸

之助さんの経営理念に世界が注目していることを強く感じました。会議では企業が持続的に発展するには、社会と共生し、社会の必要に応じなければならないという議論がなされたのですが、これは我々日本の企業にとっては当たり前のこと、根っこにある思想なんです。しかし世界にはこういう日本の良さあまり伝わっていません。だから非常に口惜しかったですね。世界に対してもっと情報発信していかねばなりません。

金丸 閉塞感のある時代だからこそ、経営術ではなく、経営者はどうあるべきかという松下さんの哲学的な思想が心に落ちるのではないのでしょうか。

牛尾 高度経済成長のお陰で日本的経営が成り立ったという側面はありますが、最近の経営者を見ると、セルフ・インタレスト（自己利益）が強すぎるように思います。もっと社会に目を向け、いかに社会と共生していくかを意識してほしいです。

■ 若者がリスクをとる社会に ■

新浪 景気低迷から脱却するには、新しい市場を創り出さなければなりません。

牛尾 そのためにイノベーションは不可欠。携帯電話や半導体の登場が新たな需要をつくり雇用を生み出しました。

金丸 ですが今の日本はまったく逆の方向に進んでいます。イノベーションや変革、改革といった言葉は死語となっています。イノベーションは切磋琢磨の競争のなかで生まれてくるものだと思いますが、学校では競争を否定した教育が行われ、若い世代ほどリスクをとらないように、競争をしないようにという傾向が強くなっています。

新浪 企業も守りに入っているように感じます。

金丸 IT業界を見ても新しい技術を直接市場に提供するのではなく大企業に提供しているベンチャー企業が非常に多い。前線で勝負する企業が増えてほしいですね。

新浪 もっと40代前半の社長が増えることを望みます。組織が若返れば、企業も元気を取り戻すと思うのです。

牛尾 国際的な競争が激化するなか、日本が世界で勝つために、競争に耐え自分の力で幸せをつかみ取る子どもたちを育てなければと強く思います。そのためには若い人たちがリスクをとって挑戦できる社会、たとえ失敗しても再チャレンジできる社会をつくらなければなりません。

■ トップ自らイメージリーダーたれ ■

金丸 責任を取りたくないからといって、あえて社長や役員を目指さない若者が増えていると聞きます。

新浪 安定を求め、ほどほどの生活が送ればよいと考え

る人が多いようですが、「あんな人になりたい」というイメージリーダーがいないことも一因ではないでしょうか。

牛尾 戦後いろいろな不自由を強いられるなかで、経済だけが自由だったため、経済界に優秀な人材が次々と現れました。松下幸之助さんは日常生活に必要な家電を安く提供することに尽力し、井深大さんは人びとの生活を豊かにするために独自の技術でカラーテレビを開発しました。こうした経営者の姿勢や思想に対して庶民は拍手喝采を送ったものです。

金丸 「リーダーはカッコいいもの」という認識を広めたいですね。経営者はもちろん、官僚でもスポーツ選手でもトップはトップとしてしかるべき誇りと責任を持つこと、だからこそ、その大きな責任に見合った待遇もあるのです。後に続く人に「トップは目指すべきもの」と思ってもらいたい。

新浪 それに経営者が若者に対して自身の経験を伝えていくことも大切だと思います。ビジネススクールで学ぶ机上の経営指南、マネジメント術だけで会社経営はできません。ビジネスは悩み、葛藤しながら自分の進退を賭けてやるもの。経営者が自らの言葉で仕事の喜びややりがいを話すことで、若い人たちがなぜ働くのか、将来どのようになりたいかを真剣に考えるきっかけとなればよいですね。

牛尾 若い人でないとできないことはたくさんあります。今こそ日本の良さを見つめ直し、若い世代には自信を持ってどんどんチャレンジしてほしい。そんな気概を持った若者が増えれば、日本に活力が戻ってくるのではないのでしょうか。
(文中敬称略)

文責：Future Innovation Forum



新浪 剛史 (にいなみ たけし)

慶應義塾大学経済学部卒。1981年三菱商事入社。91年ハーバード大学経営大学院修了。2002年よりローソン社長。



牛尾 治朗 (うしお じろう)

東京大学法学部卒。1964年ウシオ電機設立。経済同友会代表幹事、経済財政諮問会議議員などを歴任後、日本生産性本部会長。



金丸 恭文 (かねまる やすふみ)

神戸大学工学部卒。1989年フューチャーシステムコンサルティング設立。2007年フューチャーアーキテクトに社名変更。経済同友会副代表幹事。

FIFについて

フューチャー イノベーション フォーラム（略称:FIF）は「ITイノベーションを人と社会と企業の力に」というキーコンセプトのもと、2006年1月の設立以降、会員様向けのワークショップやセミナーをはじめ、未来を担う子どもたちを対象としたプログラムなど様々な活動に取り組んでいます。

キーコンセプト

ITイノベーションを人と社会と企業の力に

- 業種を越えたベストプラクティス・ITの改革力の研究と共有
 - ITのさらなる進化の方向の探求
 - 次世代経営システムの研究
 - 産学連携の促進
- 個人力のUP、自律的コミュニティへの支援
 - 子どもたちの潜在力の発掘・開花
 - 高齢者や中高生・大学生のITリテラシー教育（他団体、学校との連携）
 - 地域、コミュニティ、家庭でのIT活用研究
- 効率的で質の高い教育サービスの研究
 - 大学をはじめとする教育機関へのIT教育支援、相互交流

主な活動

FIFの活動は大きく「会員様向け企画」と「キッズ&ユース企画」があります。会員様向け企画はワークショップやセミナーなどがあり、「ITによるイノベーションの可能性を探る」を基本テーマとしています。キッズ&ユース企画は「イノベーションの未来を担う子どもたちの夢・可能性を広げよう」というキーコンセプトのもと、ものづくりやグループワークを重視した3つの体験型プログラムから成ります。

会員様向け企画

アドバイザーボードインタビュー

09年度 新企画

アドバイザーボードの皆様の意見を会員様に向けて発信することにより、コミュニケーション促進を図る

ワークショップ

ITと経営にかかわるシリーズテーマのもと、参加者の専門領域や経験に基づいた幅広い視点からの情報共有、意見交換を行い、相互の交流を図る

セミナー

「ITによるイノベーション」を基本テーマに、有識者による情報発信と共有を行うとともに、会員の皆様に意見交換し、相互の懇親を図る

キッズ&ユース企画

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

働くカッコいい大人とのふれあいをとおして、働くことの楽しさややりがいを体感し、未来の社会を支えるカッコいい大人になろう！

ITらぼ

09年度 新取組

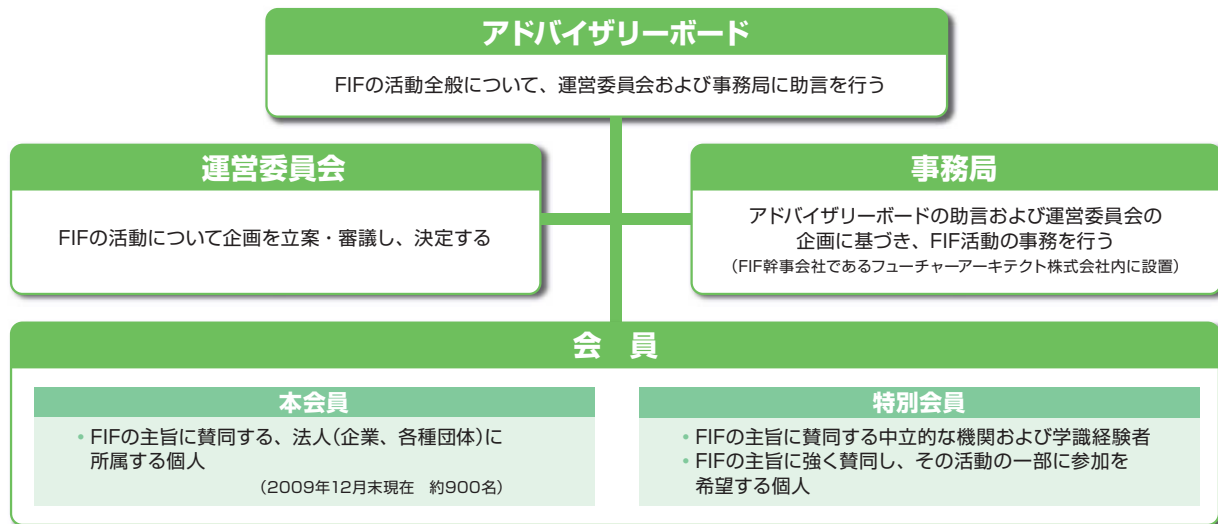
ITのしくみを知り、仲間とともに自分の手で作る体験をとおして、ITのおもしろさや可能性を体感し、イノベーションを生み出す大人になろう！

KIDS調査隊

自分が暮らしているまちへの理解、地域コミュニティとのふれあいを深めて、地域社会の未来を担うステキな大人になろう！

組織図

FIFの組織は「会員」「アドバイザリーボード」「運営委員会」「事務局」で構成されます。
現在約900名の会員の皆様に活動へご参加・ご支援いただいています。



アドバイザリーボードメンバー

青木 昌彦	スタンフォード大学 経済学部 名誉教授	鈴木 茂晴	株式会社大和証券グループ本社 代表執行役社長 CEO
明石 勝也	聖マリアンナ医科大学 理事長	張 富士夫	トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長
伊藤 元重	東京大学大学院 経済学研究科 教授	中西 勝則	株式会社静岡銀行 代表取締役頭取
牛尾 治朗	ウシオ電機株式会社 代表取締役会長	新浪 剛史	株式会社ローソン 代表取締役社長 兼 CEO
金丸 恭文	フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役 CEO	藤沢 久美	ソフィアバンク 副代表
川本 裕子	早稲田大学大学院 ファイナンス研究科 教授	増田 宗昭	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
栗和田 榮一	佐川急便株式会社 会長	三木谷 浩史	楽天株式会社 代表取締役会長 兼 社長
小島 順彦	三菱商事株式会社 代表取締役社長	渡 文明	新日本石油株式会社 代表取締役会長
榊原 清則	慶應義塾大学 総合政策学部 教授		
白井 克彦	早稲田大学 総長		(2009年12月末現在 氏名50音順敬称略)

運営委員

大山 陽一	新日本石油株式会社 経営管理第2本部 広報部 副部長	櫻田 浩	フューチャーアーキテクト株式会社 取締役常務執行役員 FIF2008年度実行委員長
小田 聰樹	ウシオ電機株式会社 社長室 秘書課 マネージャー	酒井 秀夫	フューチャーアーキテクト株式会社 経営企画本部 ディレクター
澤 昭裕	日本経済団体連合会 21世紀政策研究所 研究主幹		株式会社アセンディア 代表取締役社長 FIF2009年度実行委員長
北東 卓	佐川急便株式会社 営業戦略部長	岡安夏世子	フューチャーアーキテクト株式会社 ビジネス統括本部 マネージャー FIF事務局長
前川 徹	サイバー大学 IT総合学部 教授		
安延 申	フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役社長 FIF2007年度実行委員長		

(2009年12月末現在 敬称略)

2009年度の活動方針

FIF活動を通じて“元気と未来”を発信する

- 子どもたちの創造力を発揮させ、会員様を中心に、社会との接点を増やしていく
- 若手や中堅層など次世代を担うリーダーが集う場とする
- 会員様向け活動を強化し、会員様同士の連携を強める
- FIF活動が人や情報の結末点となるよう、情報発信のしくみを確立する

2009年度の活動実績

2009年度の活動方針は「FIF活動を通じて“元気と未来”を発信する」でした。プログラムの拡充や企画内容、運営方法の見直しに取り組み、会員の皆様とのコミュニケーション強化と参加者の満足度アップに努めました。会員様向けでは新企画として、アドバイザリーボードの皆様へのインタビューを掲載した「Future Wind」を創刊したほか、キッズ&ユース向けではより多くの子どもたちが参加しやすくなるように、ITらぼの新プログラムを企画・検討しました。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		★ 新企画 ★ 新取組 ★ 継続												
全体			★ 2/9 第6回 運営委員会	★ 2008年度 活動報告書 発行		★ 5/26 第4回 アドバイザリーボード ミーティング		★ 7/7 第7回 運営委員会						
会員様向け企画	Future Wind		★ 創刊号 発行			★ 第2号 発行			★ 第3号 発行					
	ワークショップ		★ 2/13 第3回 (08-09シリーズ)		★ 書籍出版						★ 10/26 第1回 (09-10シリーズ)		★ 12/3 第2回	
	セミナー			★ 3/13 イノベーションセミナー				★ 7/22 IT経営セミナー		★ 9/10 流通・小売フォーラム				
キッズ&ユース企画	企業見学				★ 4/2 物流の最前線			★ 7/28 エネルギーの最前線	★ 8/5 医療現場の最前線					
	ITらぼ					★ ワークショップ 出展企画案決定	★ 出張授業 企画案決定						★ 12/5 パソコン 組み立て教室	
	調査隊								★ 8/21 スーパーへGO! in 新潟					
	その他											★ 11/6 職場 体験学習		

2009年度の活動報告

■ アドバイザリーボードミーティング

■ 運営委員会

■ 会員様向け企画

- アドバイザリーボードインタビュー「Future Wind」
- イノベーションワークショップ2009-2010
- イノベーションワークショップ2008-2009
- イノベーションセミナー2009
- 書籍『ビッグトレンド』出版

■ キッズ&ユース企画

- 企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」
 - 物流の最前線
 - エネルギーの最前線
 - 医療現場の最前線
- ITらぼ
 - 出張授業
 - ワークショップ出展
 - パソコン組み立て教室
- KIDS調査隊
 - スーパーへGO! in 新潟
- 職場体験学習

アドバイザーボードミーティング&運営委員会

FIFは、アドバイザーボードならびに運営委員の皆様から提案や助言をいただきながら活動を行っています。アドバイザーボードミーティングは年1回開催され、FIFの活動に対してご意見、アドバイスをいただいています。また運営委員会は定期的で開催され、FIFの活動について企画を立案・審議し、決定しています。

アドバイザーボードミーティング

- **日時** 2009年5月26日(火) 16:00～17:45
- **会場** ANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区）
- **出席者** 16名
- **式次第**
 1. 開会 FIF代表・当ミーティング議長
金丸 恭文（フューチャーアーキテクト株式会社CEO）
 2. これまでの活動実績の振り返り
 3. 代表ご挨拶 FIF代表
牛尾 治朗（ウシオ電機株式会社会長）
 4. 新運営委員のご報告
 5. 2009年度の活動について
 6. 意見交換ならびにご歓談



■ メンバーからの感想・助言・要望

- ワークショップ新シリーズが楽しみだ。30～40代の異業種の若い世代が集まって世界が抱える問題について話し合い、何らかのソリューションを出す場としてほしい。
- 子どもと接しているときの大人が表情がとてもよい。受入側にとっても有意義なイベントであることをもっとアピールすべきだ。
- 首都圏だけでなく引き続き地方でも開催してほしい。



運営委員会

- **日時** 2009年2月9日(月)、7月7日(火)の計2回開催
- **会場** 東京都内
- **出席者** 各回8～9名
- **内容**
 1. 新委員、新実行委員長の紹介
 2. 2009年度の活動内容について検討
 3. 各プログラムの開催報告
 4. その他、諸連絡ならびに意見交換



■ 委員からの感想・助言・要望

- ワークショップの内容を書籍として広く開示できることはひとつの成果と言える。
- 子ども向けワークショップへの出展は、FIFの知名度を上げるためにも有効ではないか。協力企業のためにも広報活動は重要だ。

新企画

会員様向け企画

アドバイザーボードインタビュー「Future Wind」

2009年度の新企画として、アドバイザーボードの皆様へのインタビューを掲載した「Future Wind」を創刊しました。ボードメンバーの方々の意見を会員の皆様に向けて発信することにより、FIFへの理解を深めていただくとともに、コミュニケーションを促進していくことを目的としています。各号のメッセージを紹介します。

テーマ「今の時代だからこそ求められるリーダー像」

創刊号 フューチャーアーキテクト株式会社 CEO 金丸 恭文

- 日本はトップのポストを「かっこいいもの」として大切にすべき。
- トップはしかるべき誇りと責任を持つことが大切。そのかわり、その責任に見合った待遇も受けるべきである。そうすれば後に続く人がトップを“目指すもの”として認識しやすくなるのではないか。
- リーダーとしてリスクをとって先頭を走ろうとする人が増えれば、切磋琢磨が増え集団のレベルが上がる。会社はもちろん社会をも牽引していこうという気概を持つ人が増えてほしい。



2009年2月発行

第2号 新日本石油株式会社 会長 渡 文明 様

- リーダーは自らの言葉の重さを大切にすべきである。
- リーダーには何よりも「粘り強さ」が必要。
すぐにあきらめたり芯がぶれたりすると、周りについてはこない。
- 上に立つ人間ほど相手の気持ちを汲み取り、感謝の気持ちを伝えることが大切。
そういうリーダーにこそ人はついてくる。
- リーダーたるもの「有言実行」たれ。
覚悟を持って宣言し、やり遂げてこそ真のリーダーではないだろうか。



2009年6月発行

第3号 株式会社大和証券グループ本社 社長 CEO 鈴木 茂晴 様

- 人は十人十色。持って生まれた個性や持ち味がある。
リーダーの条件は一律ではなく、それぞれの個性を生かせばよい。
- 上に立つものには「決断力」が必要。
決断してくれる上司は多少厳しくても部下がついてくるものだ。
- 一度決めたことは妥協せずやりとおすことが大切。
- 若いリーダーには職場の雰囲気づくりを心がけてほしい。
働きやすい環境があってこそ優秀な部下が育ち、企業も元気になっていく。



2009年9月発行

新シリーズ

会員様向け企画

イノベーションワークショップ 2009-2010

FIFは初年度からイノベーションワークショップを開催しています。2009年秋からの新シリーズでは、各企業のプラットフォーム戦略に着目し、どのようなプラットフォームを構築しているのか、その構築にあたり相反する当事者間の利益をどう調整しているのかなど、新たなビジネスモデルやイノベーションについて理解を深めました。また次世代リーダーの集う場とすべく、30～40代の中堅・若手社員に参加いただき、意見交換やグループディスカッションをとおして交流を図りました。2010年春にかけて全4回開催しました。

シリーズテーマ「ITと新たなビジネスモデル」

■ コーディネーター

サイバー大学 IT総合学部 教授 前川 徹 様

■ コメンテーター

早稲田大学 ビジネススクール 教授 根来 龍之 様

■ 会 場

フューチャーアーキテクト株式会社社内会議室 (東京都品川区)



前川 徹 様



根来 龍之 様

第1回

■ 日 時 2009年10月26日(月) 18:00～20:00

■ 参 加 者 28名

■ テ ー マ 「プラットフォーム戦略と新たな経営について」

■ スピーカー 慶應義塾大学 政策メディア研究科 特別招聘教授 夏野 剛 様



夏野 剛 様

■ 意見交換の抜粋

参加者：iモードは企画時点からプラットフォームビジネスだという意識があり、なおかつ片側はサブシディでもう片方でビジネスをするという考えがあったのか？

講 師：完全に意識して構想した。iモードを始める前の1998年ごろから、ユーザーが増えればコンテンツが増える、コンテンツが増えればユーザーが増えるという関係をいかに成り立たせるかが情報プラットフォームとして重要だと考えた。iモードは外部経済性やポジティブフィードバック効果を意識して設計した。

参加者：技術はウェブ上で公開されているという話だが、コモディティ化が進むなかでそのように発掘した技術が差別化になるのか、もしくはより低コストで発掘する手段があるのか？

講 師：学会メンバーにしか公開されていない論文もあるが会費を払えば閲覧可能。人ひとり雇用することと比べると、かなりの学会に入会できる。実際にLED電球の論文は10年前から公開されていた。差別化できる技術は公開されており、他社が見つかる前に発掘することは可能といえるだろう。

■ 参加者の声 (アンケートより)

- 他の業態の話が多かったが、当社の抱える悩みと共通する話もあり非常におもしろかった。
- 中間に存在するものは価値を生み出さなければならない。創出の必要性について大変共感しました。
- 夏野先生をはじめ参加者の皆様とも非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

第2回

- 日 時 2009年12月3日(木) 18:00～20:20
- 参加者 20名
- テーマ 「プラットフォームビジネスとアマゾンの戦略」
- スピーカー アマゾンジャパン株式会社 渉外本部 本部長 渡辺 弘美 様



渡辺 弘美 様

■ グループディスカッションの概要

- ホンダのナビシステムは運転している車自体が情報源になって情報収集をする。ホンダの車があればあるほど渋滞情報が正確になるという構造だ。こういった製品が加わってくると、製造業の製品もプラットフォーム性を帯びてくるといえる。
- プラットフォームは、オープンにすればユーザーが集まりやすいが、儲けることを考えるとクローズのほうがよい。どちらの戦略でいくべきか一概にはいえず、歴史的にはオープンとクローズが繰り返されているので、時系列で見ていく必要があるのではないかと。
- コンビニエンスストアは完全にプラットフォームビジネス。興味深いのは、電子マネーに一生懸命取り組んでいるにもかかわらず各社使える電子マネーが違うということ。少しずつ相乗りしながら囲い込みを行っている。完全にクローズではないのだが、完全にオープンにすると儲からないという構造になっていて非常におもしろい。
- プラットフォームはエコシステム（プラットフォーム+補完製品群）の価値が高いものがよい。しかしエコシステムの価値が向上しても存続できないことはあり得る。それはプラットフォームリーダーが収益化できないとき。JAVAは成功したエコシステムをつくりあげたが、肝心のサンマイクロはJAVAで儲けていない。

■ 参加者の声 (アンケートより)

- プラットフォームの生と死のコメント、とてもよく理解できました。
- 非常に勉強になった。最終的にはユーザーが支持するプラットフォームが生き残っていくのだと思う。
- テーマが絞られており、チームごとのディスカッションにおいても、今後のビジネスのヒントになる議論をさせていただけだと思います。

第1回



第2回



※ 第3回は2010年2月、第4回は同年3月に実施。詳細は10年度活動報告に掲載予定。

会員様向け企画

イノベーションワークショップ 2008-2009

イノベーションワークショップ第3シリーズは、「地球環境とIT」をテーマに、省エネや効率的なエネルギー管理に向けてITをどのように活用していくのか、またITシステム自体の省エネ化をどう進めていくのか、様々な角度から未来を展望しました。東京大学先端科学技術研究センターのご協力のもと、2008年秋から2009年春にかけて全3回実施しました。

■ コーディネーター

日本経済団体連合会 21世紀政策研究所 研究主幹 澤 昭裕 様

■ 会場

フューチャーアーキテクト株式会社社内会議室 (東京都品川区)



澤 昭裕 様

第3回

■ 日 時 2009年2月13日(金) 18:00～20:20

■ 参加者 11名

■ テーマ 「ITで導く低炭素社会」

■ スピーカー 東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 藤本 淳 様



藤本 淳 様

■ ディスカッション概要

参加者：ロボット開発をガンダム世代が牽引しているように、環境問題についてもソフト面からのアプローチは有効ではないか？

講師：私もそれが切り札かなと思う。都市開発シミュレーションゲーム「SimCity」のように、どの政策を打てばどのようなグローバル社会を築くことができるかといった、説得力の高いゲームができれば、低炭素化社会の実現に向けて良い影響があるのではないだろうか。

参加者：ITで低炭素社会を導くことはできるのか？

講師：できると思う。たとえば家庭での電力消費量を考えてみると、1ヵ月の総消費電力量はわかるが、パソコンや冷蔵庫、照明など電化製品の消費電力量が各々どれくらいなのか、はっきりとはわからない。そのわからない部分をわかるようにするのが、ITの力ではないだろうか。CO2削減のための技術や政策はあるが、社会は複雑であるため、それが目標達成になかなか結びついていないのが現状だ。ITにより複雑な関係性がわかるようになれば、それだけ効果的な対策を打つことができると確信している。



■ 参加者の声 (アンケートより)

- 環境とITの現状と方向性に関して基本が分かり、勉強になりました。ありがとうございました。
- 普段はあまり意識していない話をお聞きすることができ非常に興味深かったです。

※第1回は2008年9月、第2回は同年11月に実施。詳細は08年度活動報告に掲載。

会員様向け企画

イノベーションセミナー 2009

「イノベーションワークショップ 2008-2009」の内容を受け、2009年春に「イノベーションセミナー 2009」※を開催しました。ITはそれ自体のエネルギー消費の低減が大きな経営課題となりつつある一方で、ITによる精緻な制御を行うことで非ITシステムのエネルギー利用を大きく節約できるという効果も絶大です。こうした両面からトータルに俯瞰し、環境制約への挑戦という視点からITの活用の途を探りました。

※財団法人国際IT財団との共催

- 日 時 2009年3月13日(金) 15:00～18:00
- 会 場 明治記念館 (東京都港区)
- テーマ 「IT利用の普遍化と環境制約への挑戦」
- 参加者 FIF会員を中心に計100名



近藤 賢二 様

■ プログラム

第1部 基調講演 経済産業省 商務情報政策局 局長 近藤 賢二 様

第2部 パネルディスカッション 「グリーン ITへの技術的・社会的取り組み」

モデレータ：経団連 21世紀政策研究所 研究主幹

澤 昭裕 様

パネリスト：経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課長

住田 孝之 様

インテル株式会社 マーケティング本部

エンタープライズ・プラットフォーム・マーケティング統括部長

徳永 貴士 様

フューチャーアーキテクト株式会社 取締役常務執行役員

櫻田 浩 様

■ 参加者の声 (アンケートより)

- 講演、パネルディスカッションともに話の切り口が明確で分かりやすかった。
- グリーン ITの現実的な考え方（真の貢献度の見える化が必要、グリーン ITのモチベーションはコスト削減）などが理解でき、有益だった。
- 環境問題の解決には、ITの役割が今後ますます増加していくことがわかった。ITのセーブではなく、利用を増大させ、他の分野のグリーン化を図ることが大切。
- 今回の内容を掘り下げた、より具体的なテーマを次回セミナーで取り上げてほしい。

『ビクトレンドーITはどこへ向かうのかー』

書籍
出版

2007年秋から2008年春にかけて全4回開催した「イノベーションワークショップ 2007-2008」の講義内容を一冊の本にまとめ、2009年5月下旬に出版しました。IT技術の進化の歴史に加えて、クラウドコンピューティングやSaaSといった最新の話題までを技術、ビジネスの視点から解説し、ITの近未来を探っています。

■ タイトル『ビクトレンドーITはどこへ向かうのかー』

- 序章 ITは何を変えてきたのか
- 第一章 計算機の時代からパソコンの時代へ
- 第二章 オープン化、インターネットの登場と発展
- 第三章 情報化の長期トレンド
- 第四章 SaaSとソフトウェア・ビジネスの未来
- 第五章 ITの未来を探る
- 終章 ITはどこへ向かうのか

■ 執筆者

- サイバー大学 IT総合学部 教授 前川 徹 様 (編著)
- 慶應義塾大学 経済学部 准教授 田中 辰雄 様 (著)
- フューチャーアーキテクト株式会社 社長 安延 申 様 (編著)

■ 出版社 株式会社アスペクト (東京・神保町)

■ 形式 A5版、256ページ

■ 定 価 2,310円 (税込)



キッズ&ユース企画

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」は、小中学生を対象にした一日職業体験プログラムで、FIFが初年度から実施している活動です。社会のしくみを知り、働くことの楽しさを体感することで「働くって楽しい!」「プロの技はスゴイ!」「働くことは社会を支えていることなんだ!」と実感してもらうことを目的としています。2009年度は前年度に続いて佐川急便株式会社様、新日本石油株式会社様にご協力いただいたほか、参加者からの熱い要望を受けて、2年ぶりに聖マリアンナ医科大学様で実施しました。

コンセプト

働くカッコいい大人に会いにいこう!

社会の“しくみ”の実感

企業や団体で仕事の実体験をすることによって、その成り立ちや役割を知るとともに、いままで気づけなかった社会の“しくみ”を実感する。

社会人としてあるべき姿の模索

トップとの対話やふだん接することの少ない社会人とのふれあいをとおして、社会人としての理想像やリーダー像、将来の夢をより現実的に思い描く。

働くことの楽しさややりがいを体感

学校や家庭とはひと味違う、オフィスや工場での様々な体験をもとに、社会で働くことの楽しさややりがいを体感する。

プログラムの特色

実施にあたっては、以下を特色としたオリジナルのプログラムを受入企業・団体の皆様とともに企画しています。10～20名の少人数で行う中身の濃い内容で、参加者や保護者の皆様からたいへん好評いただいています。

■ 企業・団体のトップとの対話、ふれあい

ふだん接する機会が少ない企業・団体のトップの方々のお話をきいたり、直接質問したりすることで、仕事への情熱や経営に対する姿勢を学ぶ。

■ 外部には非公開の場所やしくみの見学

関係者以外には公開することのない部署やシステムを見学し、その企業・業界における最先端の技術やしくみにふれる。

■ 現場での職業体験

店舗やオフィスで実際に行われている業務を大人といっしょに体験しながら、働いている人の想いやプロの仕事を肌で感じる。

物流の最前線（佐川急便株式会社様）

- **コンセプト** 配達・集荷の実習体験などをとおして、物流のしくみを知り、理解を深める
- **日時** 2009年4月2日(木) 10:00～15:30
- **会場** 佐川急便株式会社 本社 東京本部（東京都江東区）
SGリアルティ株式会社（同）
- **参加者** 小学5～6年生の計15名
- **内容** 授業①～「荷物の流れ」ってどうなっているの？
授業②～「集荷・配達」「送り状のひみつ」について教えてもらおう！
トラックの見学～いろいろなトラックの役割や装備機器を学ぼう！
実習①～2人1組での配達・集荷体験（SGリアルティにて）
実習②～荷物の梱包・発送体験（佐川急便文京店にて）
オフィス見学
栗和田会長との名刺交換&質問会
- **後援** 江東区教育委員会、品川区教育委員会、家庭教師のトライ



実際にからだを動かして“働くこと”を体験し、「仕事とはこういうものなんだ」と実感できることは、このプログラムの良いところだと思う。ちょっと背伸びしているかもしれないが、大人と対等に何かをやり遂げたという体験は、子どもたちにとってたいへん貴重ではないだろうか。

佐川急便株式会社 取締役会長（実施当時）
栗和田 榮一様



エネルギーの最前線 (新日本石油株式会社様)

- **コンセプト** 石油を中心に、人びとの生活やあらゆる産業を支えるエネルギーについて学ぶ
地球環境との調和と次世代エネルギー開発について学び体験する
- **日時** 2009年7月28日(火) 9:50～16:20
- **会場** 新日本石油株式会社 中央技術研究所 (神奈川県横浜市)
新日本石油精製株式会社 根岸製油所 (同)
- **参加者** 中学1～3年生の計22名
- **内容** 会社紹介
若手研究者の方たちからのメッセージ
中央技術研究所見学・実験 (石油精製プロセス・実車試験の説明、燃料電池の実験、燃料電池車試乗)
若手研究者の方たちとの昼食・質問会
根岸製油所見学
タンカー乗船 (ブリッジ・コントロールルーム・機関室の見学、船長への質疑応答)
グループワーク
渡会長からのお話&質問会
- **後援** 川崎市教育委員会、品川区教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ



大人と違って子どもたちの質問は鋭く、自分自身の勉強になっている。今後は若い世代にもものづくりやイノベーションにこれまで以上に興味をもってもらわないといけないし、このような体験の機会はますます重要だと思う。参加した子どもたちにどんな収穫があったのか、その後の人生にどんな影響があったのかを知りたい。

新日本石油株式会社 代表取締役会長
渡 文明 様



医療現場の最前線（聖マリアンナ医科大学様）

- **コンセプト** 医療が担う使命や役割、医療に携わることの素晴らしさややりがいを体感する
診断が下るまでの思考プロセスや考え方を学ぶ
- **日時** 2009年8月5日(水) 9:45～16:35
- **会場** 学校法人 聖マリアンナ医科大学（神奈川県川崎市）
- **参加者** 中学1～3年生の計12名
- **内容** 三宅病院長のあいさつ、病院紹介
手術室の見学
実習体験 ～エコー検査または画像診断
メンタルヘルスの講義&ディスカッション
病院食体験
教育現場体験 ～医学生が行っている実習を体験
 - ① 心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使い方
 - ② 心音・呼吸音の診察、誤飲処置、人工皮膚を使った縫合
 - ③ ドクターカーの見学
 明石理事長のお話&質問会
- **後援** 川崎市教育委員会、品川区教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ



昔に比べて多くの情報を取得できるようになったが、一方で見たり、聞いたり、さわったりといった“体験”する機会は減っているように感じる。成長過程において実体験はとても重要であり、五感を使って人と交わることで心が形成されていく。そういう意味で、社会の現場を見せることは大切なことだ。

聖マリアンナ医科大学 理事長
明石 勝也 様

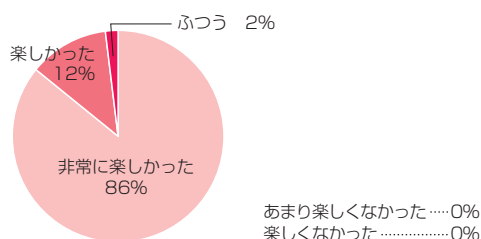


企業見学プログラム アンケート結果

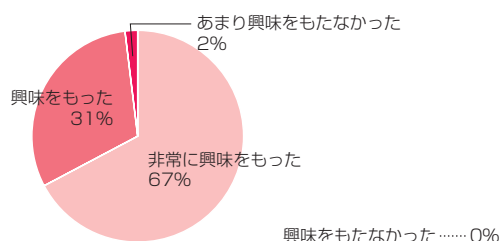
FIFではプログラム終了時に参加者と保護者を対象にしたアンケートを実施しています。そのアンケート結果をもとに内容の見直しや運営方法の改善を行い、子どもたちにとってより有意義なプログラムになるよう努めています。下記にアンケート結果の一部を紹介します。(回答者数49人、回答率100%)

★参加者の感想

質問1 参加してみてどうでしたか？



質問3 今回見学した企業・団体や体験した仕事に興味をもちましたか？



質問2 それはなぜですか？

◆ 物流の最前線

- トラックにのっていろいろな機能を見たのがとても心に残っておもしろかったから。(小5男子)
- いろいろ体験してどのような事をしているかわかって楽しかったから。(小5女子)
- はいたつの大切さがわかったから。(小6男子)

◆ エネルギーの最前線

- 実験で水素と酸素で熱や電気をつくれたりタンカーに乗れたから。(中1男子)
- プログラムも充実しており、いろいろなことを学ぶことができたから。(中3男子)
- 自分の考えていたものよりも楽しく、新しい発見があったから。(中3女子)

◆ 医療現場の最前線

- 自分たちでもできるような医療方法をいろいろ教えてもらえたから。(中1男子)
- 普通の人ではできないような体験をできたから。(中2男子)
- 友だちも出来たし、医学についてあいまいだった所がさらに分かるようになったから。(中2女子)

質問4 それはどうしてですか？

◆ 物流の最前線

- 本当にちゃんと仕事をやる機会はなかなかないから。(小5男子)
- 普段入れないところに入れたから。(小6男子)
- 大変だったけれどやりがいがあって、それがうれしかったから。(小6女子)

◆ エネルギーの最前線

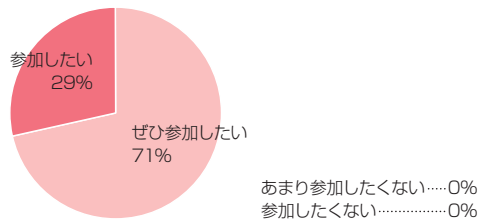
- 環境に優しいものを開発するのはとても有意義で楽しそうだから。(中1女子)
- すべての仕事において、とてもやりがいがありそうだったから。(中2男子)
- 新エネルギーの研究開発に力を注いでいることを改めて実感したから。(中3男子)

◆ 医療現場の最前線

- 実際にやらせてもらって、そのむずかしさなどが分かったため。(中1男子)
- 前々からずっと興味を持っていたけど、今日を通じて、さらに興味をもった。(中2女子)
- 私もお医者さんになってたくさんの人を治したいと思ったから。(中3女子)



質問5 今後もこのような企業見学に参加したいですか？



質問6 それはどうしてですか？

- ◆ **物流の最前線**
 - いままで知らなかったことが今回いっぱいわかったから他の会社を見学してみたい。(小5男子)
 - 楽しかったから。これからの勉学にやくだてたい。(小5女子)
 - いろいろな発見がまっていそうだから。(小6男子)
- ◆ **エネルギーの最前線**
 - 新しいことをもっと吸収したいから。(中2男子)
 - 一生に一度、経験できるかどうかの事で、とてもわくわくしたから。(中3男子)
 - いろいろな会社を見ることで自分が将来やりたいことについて考えを広げたいから。(中3女子)
- ◆ **医療現場の最前線**
 - やっぱり、とても楽しかったからです。(中2女子)
 - またこのような体験をして色々な仕事に興味をもちたいから。(中3男子)
 - 知識を増やしたい、色々な仕事を見たい、普通ではできない体験をしたいから。(中3女子)

★ **保護者からの声** (アンケートより)

- ◆ **物流の最前線**
 - スタッフや佐川急便の方々がとても一生懸命に親切にして下さってありがとうございました。1～2時間ではわからない、まさに“物流の流れ”が、家に届くということまで体験することができて実感が深まったようです。
 - 日頃から佐川急便を目にしているはずなのに気が付かなかったようですが、イベントの後は「佐川急便のCMだ」「車だ」を連呼。目にしている事と目で見ている事は違うと実感しました。
- ◆ **エネルギーの最前線**
 - 社会のしくみや仕事の楽しさを小中学生で体験すると、理想の未来を考え、一人一人が目標を持って成長していくと思いますので、これからも是非続けてください。
 - 「キッズニア」のような疑似体験もいいですが、まずは現場に向かいその肌感覚を得ることは、今後の人生でも必ず役に立つ習慣だと思います。そのような貴重な体験の機会を与えていただいた今回の企画は本当に感謝です。関係者の皆様、有難うございました。
- ◆ **医療現場の最前線**
 - 教育現場体験を目をキラキラさせて話してくれました。その他一日の事をたくさん話してくれました。期待以上の見学でした。
 - 子どもの様子を見てみると、とても有意義な時間を過ごせたんだと思います。事前に宿題があった事も良かったです。おかげで当日なんとなく参加ではなく、多少なりとも今回の企画を自分なりにイメージできたように思えます。



キッズ&ユース企画 ITらぼ

ITらぼは、ITにフォーカスしたオリジナルプログラムの総称で、FIFが初年度から実施している活動です。グループワークを通じてITのしくみを知り、その可能性を体感することで、イノベーションを生み出す大人への成長を支援することを目的としています。2009年度は前年度に続いて大分銀行様と共催で「パソコン組み立て教室」を実施したほか、企画チームを立ち上げ、「小学校への出張授業」「子ども向けワークショップへの出展」という新しいプログラムをつくりあげました。

コンセプト

イノベーションを生み出す大人になろう！

“使う側” から “創る側” へ

自分の手でつくりあげる達成感を味わうことで、ITを“使う側”から“創る側”に立つ喜びや楽しさを体感する。

ITへの興味の喚起

ITのしくみを知り、技術のおもしろさやデジタルの世界の可能性を感じることで、ITを身近に感じ、理数系の分野への興味を喚起する。

ITリテラシーの向上

プログラミングや画像編集などの体験をとおして、想像力や表現力、ITリテラシーを高める。

プログラム内容

09年度 新取組

1. 小学校へ出張授業

90分間1コマを基本に、小学校5、6年生を対象にした3つの体験学習型プログラムを用意。



09年度 新取組

2. 子ども向けワークショップへの出展

短時間でたくさん子どもたちがITについて楽しく学べる4つのプログラムを用意。



3. パソコン組み立て教室

パソコンを組み立てる作業をとおしてしくみや役割を理解するとともに、モノをつくる楽しさを体感。



1. 小学校への出張授業

教育現場からのニーズに応え、前年度まで実施してきた「パソコン組み立て教室&ロボットカーレース」をベースに、授業の一貫としてできるプログラムを企画・検討しました。1 授業につき90分間を基本に、小学校5、6年生を対象にした以下の3つの体験学習型プログラムを用意しています。2010年春には初めての出張授業として、杉並区立杉並第七小学校でロボットカーを使った「プログラミング教室」を実施しました。

① プログラミング教室 ~プログラムを書いてロボットカーを走らせよう!



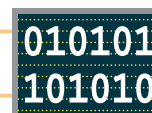
パソコンでプログラムを書き、思い通りにロボットカーを動かす体験をとおして、プログラミングへの理解を深める。

② プログラムで遊ぼう! ~ドリトルで学ぶプログラミングのしくみ



小学生でも簡単に書けるプログラミング言語「ドリトル」を使って、楽しみながらプログラミングのおもしろさを体感する。

③ デジタルってなんだろう? ~2進数のヒミツを学ぼう!



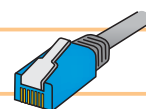
ITの基本である2進数を学び、計算ゲームを楽しみながらデジタルの原理を体感することで、コンピュータへの興味を喚起し、理解を深める。

※杉並第七小学校での「プログラミング教室」の詳細は10年度活動報告に掲載予定。

2. 子ども向けワークショップへの出展

活動の幅と対象年齢を広げるため、多くの団体が参加する子ども向けワークショップへの出展を目指し、短時間でたくさんの子どもたちに楽しんでもらえる4つのプログラムを企画・検討しました。2010年度から積極的な出展を計画しています。

① ネットにつなごう! ~LANケーブルづくり



ネットに接続するためのLANケーブルを作成し、身近なものがつくれる喜びを実感する。

② 分解してみよう! ~電卓のしくみ



身近なコンピュータである電卓を分解して、その構造やしぐみを学ぶ。

③ 世界に発信! ~携帯&PC用のホームページ制作



ホームページの制作をとおして、世界に情報発信する楽しさを体験する。

④ ゼロワンクイズ ~めざせ、ゼロワン大賞!



ITに関するクイズに答えながら、ITの知識を取得する。

3. パソコン組み立て教室

「パソコン組み立て教室」は、学校や家庭でふだん何気なく使っているパソコンを部品から組み立てる作業とおして、子どもたちにパソコンの構造やしくみを知ってもらうとともに、みんなで一緒にモノをつくりあげる楽しさや喜びを体感してもらうことを目的としています。前年度好評だったのを受け、2009年度も大分銀行様との共催で実施しました。

大分キッズスクール 「パソコン組み立てに挑戦！」(株式会社大分銀行様)

- 日 時 2009年12月5日(土) 10:00～15:30
- 会 場 ソフィアホール (大分県大分市)
- 参加者 小学3～6年生の計10名
- 内 容 開校式
パソコンの部品当てクイズ ～パソコンはどんな部品からできているのかな？
パソコンを組み立てよう① ～部品選びからマザーボードの取り付けまで
パソコンを組み立てよう② ～ケーブルの取り付けから起動まで
パソコンのしくみと役割について学ぼう！
組み立てたパソコンでカレンダーや年賀状をつくろう！
作品発表
閉校式(修了証授与、記念撮影)
- 共 催 株式会社大分銀行、FIF
- 後 援 大分県、大分県情報サービス産業協会、大分IT経営推進センター、株式会社大分カード

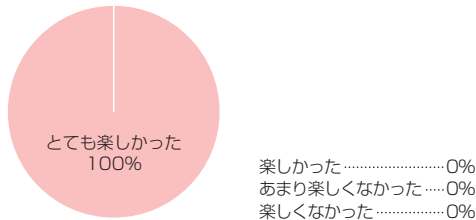


ITらぼ アンケート結果

今年度実施した「パソコン組み立てに挑戦！」のアンケート結果の一部を紹介します。パソコンが完成し無事に起動した瞬間、会場のあちこちから「やったあ！」という歓声と拍手が上がりました。みんなで協力して組み立てる喜びやパソコンを使って作品をつくる楽しさを肌で感じてもらえたようです。(回答者数10人、回答率100%)

★参加者の感想

質問1 参加してみてどうでしたか？



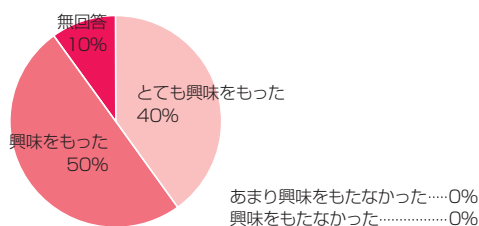
質問2 それはなぜですか？

- みんなできょうりよくしたから。(小3男子)
- DVDハードディスクをつけるのがおもしろかったから。(小5男子)
- パソコンの内部が見られたから。(小6男子)

質問3 何か新しい発見はありましたか？

- CPUが意外に小さいこと。(小5男子)
- つかうコードがあったし、つかわないコードがあったこと。(小5男子)
- パソコンの中はいがいとすきまがあるんだな。(小5男子)

質問4 パソコンにかかわる仕事について興味をもちましたか？



質問5 それはどうしてですか？

- パソコンの中の仕組みがわかったから。(小5男子)
- ボタン1つだけで、ぜんぶけしたりできるのがすごかったから。(小5男子)
- 自分なりにいろいろできるから。(小6男子)

★保護者からの声 (アンケートより)

- 年齢も小さいのに、詳しくやさしく丁寧に指導して頂いてありがとうございました。子どもがこんなに興味を示すとは予想外でした。また機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
- 親が出来てもなかなか教えられない事を実施していただきありがとうございました。次回機会があればよろしくお願いたします。
- スタッフの人に対して心より「ありがとう」の言葉です。子供とともに歩む「すがた」に感動。

参加者の作品



参加者のメモ



キッズ&ユース企画 KIDS 調査隊

KIDS調査隊は、FIFが2008年度から小学生を対象に実施している体験型プログラムです。自分たちが暮らしている地域社会への理解を深め、地元への愛着を育み、地域社会の未来を担う大人への成長を支援することを目的としています。地域に根ざした店舗で地元の人びととふれあいながら、実践的な体験学習を行います。2009年度は前年度に引き続き、新潟県の食品スーパー「ウオエイ」で実施しました。

コンセプト

地域社会の未来を担う大人になろう！

地域社会への理解

自分たちが暮らしている地域の特徴を知り、理解を深める

地域への愛着の醸成

来店する人びととのふれあいを通じて、地域コミュニティとのつながりを深め、地域への愛着を醸成する

食の重要性の認識

商品企画や実演販売、試食体験をととして、食の大切さを学ぶ

スーパーへGO！ in 新潟（株式会社魚栄商店様）

- 日 時 2009年8月21日(金) 8:30～13:30
- 会 場 株式会社魚栄商店 ウオエイ燕店（新潟県燕市）
- 参加者 小学5～6年生の計16名
- 内 容 会社紹介、接客の練習
 店舗実習①～開店前の準備をして、お客さまをおむかえしよう！
 POPづくり～特売品のPOPをつくろう！
 店舗実習②～POPをかざりつけて、商品を売ってみよう！
 店舗実習③～店内アナウンス、商品発注、レジ打ちを体験しよう！
 スーパー大調査～商品のレイアウトや産地の調査、棚づくりに挑戦、お客さまへのアンケート
 食育教室&昼食～地元の食材をたっぷり使った特製ランチ&オリジナルピザの試食
- 後 援 新潟県燕市教育委員会



お客さんがくる前に、準備をいろいろして、お客さんに喜んでもらうとがんばれた。(小6女子)

POPを作った商品が売れてとても楽しかった。(小6女子)

ウオエイの人は朝早く店に来るんだ!っていうのが発見でした。(小5女子)

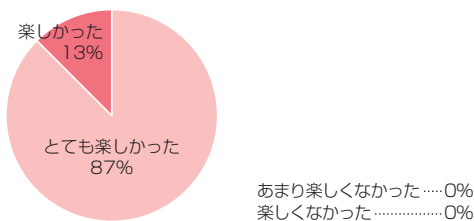
今日、とてもたのしかったので、ぼくが6年生のうちにあと5回ぐらいやりたいです。(小6男子)

KIDS 調査隊 アンケート結果

前回以上に好評で、6年生からは「中学生になっても参加できるプログラムをぜひつくってください!」といううれしい言葉をもらいました。アンケート結果の一部を紹介します。(回答者数16人、回答率100%)

★参加者の感想

質問1 参加してみてどうでしたか?



- ◆ POPづくり…… 2名
 - いろんなアイデアを考えて、お客さんのことを考えると楽しかった。(小5女子)
- ◆ 開店前の準備…… 2名
 - 手作業でやって売れたから。(小6女子)
- ◆ レジ体験…… 2名
 - レジで物をうつのが初めてだったので。(小5女子)
- ◆ 商品発注…… 2名
 - はじめて発注したのでたのしかった。(小6男子)

質問2 それはどうしてですか?

- 商品をならべることなどが楽しかったから。(小6男子)
- 寿司のたいけんをして楽しかったし、自分たちが作った寿司が売れたから。(小6女子)
- ウオエイでどんなことをしているかわかったし、仲良くなった人がいるから。(小6女子)

質問3 今回の体験で一番おもしろかったものは何ですか? その理由は?



- ◆ 実演販売体験…… 5名
 - いつもの自分とは反対の立場になれたから。(小6男子)
 - お客さんに来てもらうのはむずかしいけど、きてもらった時うれしい。(小6女子)

★保護者からの声 (アンケートより)

- スーパーの見学は3年生社会科で行いますが、それから2年たち「働く」ことの大変さや「喜び」をもう少し気づけるのではないかと、気づいてほしいと思い参加させました。子どもの第一声が「楽しかった。またやりたい」でした。良い職業体験の場を与えていただきました。
- 何げなく買い物をしていましたが、今後売り手側の事も考えつつ商品を手に取る事もあると思います。良い機会をいただきましてありがとうございました。

キッズ&ユース企画 職場体験学習

中学生による職場体験学習

FIFは2009年度、中学生の職場体験学習に初めて協力しました。

11月上旬、東京都杉並区立天沼中学校の校外学習「ドリームズ・カム・トゥルー」の一環として、2年生の生徒3名がFIF事務局を訪問してくれました。生徒たちはFIFの仕事内容について説明を聞いたあと、オフィス見学や事務局メンバーへのインタビューを行い、「仕事のやりがいは何ですか?」「失敗談はありますか?」など熱心に質問しました。またFIFのプログラムのひとつである「パソコン組み立て」を実際に体験しました。短い時間でしたが、働くことはどういうことなのかを少しでも感じてもらったのではと思っております。

- 日 時 2009年11月6日(金) 13:00～16:30
- 会 場 フューチャー イノベーション フォーラム事務局
(フューチャーアーキテクト株式会社内・東京都品川区)
- 訪 問 者 杉並区立天沼中学校の2年生、3名
- 内 容 FIF紹介
オフィス見学
事務局へのインタビュー
パソコン組み立て実習

■ 生徒たちの感想 (アンケートと手紙より)

- 未来の子どもたちのために、いろいろな行事を行っていてすごいと思った。
- 知らない事をいっぱい知ることができて、しかもパソコンを組み立てることができて、とても楽しかったです。色々と教えてくれてありがとうございました。
- 絶対に失敗がないように、たくさんの日数と時間を重ねてたくをしていると聞いたとき、すごく感動しました。この体験を生かして未来のことを考えていきます。

※ 今回の訪問について生徒たちが書いた記事が、2010年春発行の「job job」に掲載されました。



プレスクリッピング集

■ 企業見学プログラム「『社会の最前線』見学～医療現場の最前線」

- タウンニュース

■ ITらぼ 大分キッズスクール「パソコン組み立てに挑戦！」

- 大分合同新聞
- 読売新聞

■ KIDS調査隊「スーパーへGO! in 新潟」

- 新潟日報

■ FIF紹介

- キッズドア

企業見学プログラム 『『社会の最前線』見学～医療現場の最前線』

医療現場の最前線を体験

聖マリアンナ医科大学で中学生対象の体験企画

超音波で体を探るエコーを体験



明石勝也理事長

中学生が医療現場の最前線を体験する企画が今月5日、聖マリアンナ医科大学（明石勝也理事長）で行われた。参加した12名の子ども達は丸1日をかけて、同病院で実習体験をするなど最前線の医療現場を体感した。

この企画はフューチャーイノベーションフォーラム（FIF）が子ども達の夢、可能性を広げるために行っている社会貢献活動の一環。これまでも佐川急便やトヨタ自動車などと協力し、子ども達に体験型のプログラムを提供してきた。聖マリアンナ医科大学の協力は今回で3回目となった。

参加した子ども達は「お医者さんの頭の中をのぞいてみよう！」をテーマに、画像診断やエコー検査の体験を行い、医師が病気を診断してから原因を考えるまでの課程を体験した。普段

は見ることのない画像や機械に触れ、子ども達は興味津々の様子だった。更に「病院食を食べてみよう！」では栄養学について学習した後、体調や体質にあわせてつくられた病院食も試食した。また「お医者さんの勉強を体験しよう！」というテーマでは、教育現場体験として心臓マッサージや人工呼吸、聴診器を使った音の聞きわけにも挑戦した。人工呼吸では必死に取り組みあまり、息を吹き込みすぎて顔を真っ赤にする参加者もいた。最後に明石理事長から医療現場のやりがいについて「医療は人に求められて、与えることが出来る、しかも喜んでもらえる仕事」との話があった。参加した子ども達は「カッコイイと思ったし、自分も大きな病院で働きたいと思った」「お医者さんになりました」という気持ちももつともつと、強くなった。「それぞれの人、自分の出来ることを一生懸命やっ

タウンニュース
2009.8.21

ITらぼ 大分キッズスクール「パソコン組み立てに挑戦！」



四重奏

◇…小学生を対する任意団体「フューチャー象にした「パソコン組み立て教室」が5日、大分市の大分第2ソフィアプラザビルであった。県内の小学生11人が参加した。

◇…情報技術（IT）を社会に生かす活動をしてい

る任意団体「フューチャー象にした「パソコン・イノベーション・フォーラム」（東京都）と大分銀行の共催。同団体は子どもたちにIT関連のものづくりに触れてもらう活動にも取り組んでいる。

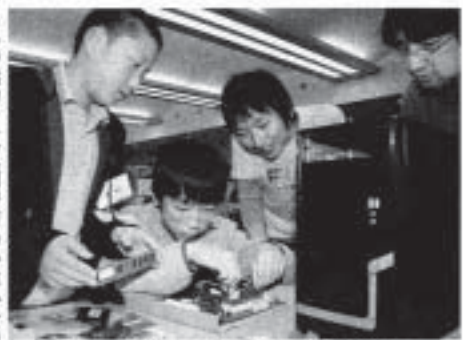
◇…子どもたちは部品を組み立てながらパソコンの仕組みを学習（写真）。大分市西浜、奥畑雅磨君（8）は「舞鶴小3年」は「パソコンの中にたくさん部品が入っていて驚いた」と話した。

大分合同新聞
2009.12.6

読売新聞
2009.12.6

パソコン組み立て挑戦

大分で教室、ITの魅力伝える



情報にパソコンを組み立てる子どもたち

情報技術（IT）の魅力を伝えることを目的としたパソコン組み立て教室が5日、大分市春日町のソフィアホールで開かれた。大分、別府市の少年少女発明クラブの小学生ら11人が参加し、パソコン部品を丁寧に組み立てていった。

情報システムや電気機械

などの企業がつくる社会貢献組織「フューチャーイノベーションフォーラム（FIF）」と、大分銀行が共催で、昨年2月に続き、2回目の開催。

子どもたちは、FIFのスタッフから指導を受けながら、マザーボードと呼ばれる電子回路基盤に中央演算処理装置（CPU）やメモリなどを取り付けてパソコンを完成。その後、パソコンを使った年賀状やカレンダー作りを体験した。

別府市の大平山小5年、松浦颯士君（11）は、たくさん部品が詰まっていると思ったら、意外にスカスカで驚いた。部品がぴったりとはまるのが面白いと話していた。

KIDS調査隊 「スーパーへGO! in 新潟」

新潟新報
2009.8.25

店頭で来店客に熱心に商品を勧める小学生＝燕市柚木の「ウオエイ燕店」



スーパーで接客体験

燕の児童 野菜売りやレジ打ち

子どもたちが接客体験「KIDS調査隊 スーパーへGO!」がこのほど、燕市柚木の食品スー

パー「ウオエイ燕店」で行われた。市内の小学生16人が参加。買い物に来た地元住民らに應對して販売の醍醐味を味わった。

小中学生を対象に社会体験プログラムなどを実施している任意団体「フューチャーイノベーションフォーラム」(東京が主催。魚栄商店(新潟市南区)の親会社が同団体に参加していること)から、昨年に続き企画された。

ら指導を受けながら、新鮮なナスを並べたり、総菜の盛り付けをしたりして開店の準備に励んだ。接客では「いらっしゃいませ」と元気いっぱいにあいさつ。「頑張ってるね」という客からの応援を受けながら、「本日のお薦め品」の紹介を積極的に行なった。

続いてレジ打ちや店内アナウンスにも挑戦するなど、スーパーの業務を丸ごと体験。子どもたちは仕事の大変さを痛感するとともに、充実感を味わった。小中川小6年の内山香さん(11)は「商品を賣ってもらうのはとても難しかった。店員さんの苦労が分かりました」と話していた。

FIF紹介

キッズドアインタビュー 第4回

<http://www.kidsdoor.net/style/interview4.htm>

Kids' Door Style

教育・子育て・社会貢献情報サイト キッズドアスタイル

おでかけに 勉強に役立つ情報満載のキッズポータルサイト **キッズドアはコチラ!**

HOME
キッズドア主催イベント
キッズドア活動日記
メールマガジン登録
キッズドアお問合せ

子育てお役立ち情報

イベント情報

気になる人についてみよう
キッズドアインタビュー

『うさぎ道』安全教室

どうすればいい?
親子のコミュニケーション

子どものあんしんアート

気になるあの人の聞いてみよう!

キッズドアインタビュー

Interview

「学ぶ」「楽しむ」「ワクワク感」を大切に

第4回ゲスト



フューチャーアーキテクト株式会社
同安夏世子さん



経営企画本部マネジャー
FIF事務局員同安夏世子さん

シニアスタッフの小船有紀さん

今回は、「学ぶ」「楽しむ」「ワクワク感」を大切にしたキッズイベントを企画・運営しているフューチャー イノベーション フォーラム (FIFkids) で、事務局を担当しているフューチャーアーキテクト株式会社 経営企画本部マネジャー FIF事務局員同安夏世子さんとシニアスタッフの小船有紀さんにお話を伺いました。

FIF kids の取組み

渡辺: まず、フューチャー イノベーション フォーラムについてお話しいただけますか。

同安: フューチャー イノベーション フォーラムは、2006年1月から活動を開始しております。フューチャーアーキテクト(以下フューチャー)の会長、金丸が、社会貢献に取り組んでいこうと考え、取引先等、お付き合いのある企業の方々に声をかけ、賛同をいただいて立ち上げたのがフューチャー イノベーション フォーラム(FIF)という団体です。幹事会社であるフューチャーが事務局を担当し、会員の方々に向けて、セミナー・ワークショップという形でITをテーマに活動する一方、未来を担う子ども達に向けて何か出来ないかと活動を始めて、今年で4年目を迎えました。

渡辺: 子ども向けとしては、具体的にはどのような活動をされているのですか?

同安: 小学校の高学年から中学生の、ちょうど考えることを始める子どもを対象に、イベントを企画・開催しています。イベントの一つに、実際に子ども達にパソコンの組み立てをしてもらうITらぼという企画があります。フューチャーはITコンサルティングの会社で技術を大切にしており、新人研修のカリキュラムの一つにパソコンの組み立てがありますので、それをうまく子ども向けに出来ないかと。今の子ども達は身近にパソコンやゲーム機、携帯電話があり、使い慣れている子が多い。でも、使う前には必ず作る作業があるということを伝えられないかと考えました。もう一つは、アドバイザリボードの首脳が企業のトップの方々なので、その強みを活かして、企業の現場に行って働くことを体験する。働くことはどういふことが出来るか出来ないかと考え企画しています。

キッズドアについて

設立の目的

団体概要

活動実績

キッズドアの取り組み

ワークショップ事業

キッズドア勉強会

コラボレーション事業

キッズドアを支えて下さい

日本の子供をもっと元気に! ご寄附・ご支援に関しては、こちらをご覧ください。

キッズドアスタイル **Kids'DoorStyle**

LINKについてのお知らせ

【ガクボラ】

日本を救う! 教育格差を突き崩す! 学習ボランティアによる子ども支援チーム

公式サイトはこちら

脱! 子どもの貧困 サバイバル大作戦

公式サイトはこちら



イベントポスター集

■ 企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

- 物流の最前線
- エネルギーの最前線
- 医療現場の最前線

■ ITらぼ

- 大分キッズスクール「パソコン組み立てに挑戦！」

■ KIDS調査隊

- スーパーへGO! in 新潟

企業見学プログラム 「物流の最前線」

企業見学プログラム 「社会の最前線」 見学

～物流の最前線～

大募集!
参加無料



昨年の参加者より：「今日一日面白いことがたくさんありました」小5年男子、「とても楽しかったので、これからも続けてください」小5年男子
「またこういう企画をやってください、絶対に参加します」小5年女子

4月2日(木) 10:00～16:00

対象：小学5～6年生(定員18名)

※定員を超えた場合は締切後に抽選を行います。ご了承ください。

- 開催場所：佐川急便株式会社（東京都江東区新砂2-1-1）
- 参加費：無料（昼食つき）※集合場所（東京メトロ東西線南砂町駅）までの交通費は各自ご負担ください。
- 応募方法：専用申込用紙、またはFIFキッズサイト、メールにてお申し込みください。
- お申込、お問い合わせ：フューチャー イノベーション フォーラム事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階
TEL：03-5740-5817（祝祭日を除く平日10時～17時） URL：http://fif.jp/kids
- 申込締切：**3月10日(火)** FIF事務局必着
- 主催：フューチャー イノベーション フォーラム（FIF）
- 協力：佐川急便株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社
- 後援：江東区教育委員会、品川区教育委員会、家庭教師のトライ



企業見学プログラム 「エネルギーの最前線」








参加者募集!
参加費無料
昼食付き

FIF kids

7月28日 (火) 9:50～16:20

対象:中学生 (定員20名)

※定員を超過した場合は抽選後に抽選を行います。ご了承ください。

**新日本石油ってどんな会社かな??
エネルギーの最前線を体験しよう!
中央技術研究所・根岸製油所を見学しよう!
巨大石油タンカーに乗船してみよう!
新日本石油の会長に質問しよう!**

エネゴリくん



2008年度参加者アンケートより

- 1 交流会の貴重なお話と今後生きてくる言葉を聞くことができました。
- 2 燃料電池の研究がとてもしなやかで面白かったです!
- 3 新しい技術と、大きな機械、普段見られないような設備を見ることができた。
- 4 自分の知らないような仕事を知ることができた!
- 5 タンカーに乗れたし、友達もできた。それに新エネルギーについても知ることができました。

企業見学プログラム 「社会の最前線」見学

エネルギーの最前線

- 開催場所:新日本石油(株) 中央技術研究所、新日本石油精製(株) 根岸製油所
- お申込み・お問合せ:フューチャー イノベーション フォーラム事務局
FIFのホームページまたは専用申込用紙にてお申し込みください。
- URL : <http://fif.jp/kids/> TEL : 03-5740-5817 (祝祭日を除く平日10時～17時)
- 申込締切:7月3日(金) FIF事務局必着
- 主催:フューチャー イノベーション フォーラム
- 協力:新日本石油(株)、新日本石油精製(株)、フューチャーアーキテクト(株)
- 後援:川崎市教育委員会、品川区教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ

*天候などにより、タンカーに乗船できない場合があります。またタンカーは高い所に登ることになりますので予めご了承ください。

エネルギーを、ステキに。
ENEOS

企業見学プログラム 「医療現場の最前線」



この夏、大学病院で医療の仕事を体験してみませんか？



企業見学プログラム「社会の最前線」見学
医療現場の最前線

8月5日 (水) 9:50～16:30

対象：中学生 (定員12名)

エコー検査実習



病院食体験



お医者さんはどのように病気を診断するのかな？
頭の中をのぞいてみよう！
医学生が行っている実習を体験しよう！
大学病院の理事長に質問しよう！



参加者募集！
参加費無料
昼食つき

開催場所： **聖マリアンナ医科大学** (神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1)

お申込み・お問合せ： **フューチャー イノベーション フォーラム事務局**

F I F のホームページ、または専用申込用紙にてお申し込みください。

URL: <http://fif.jp/kids/> / TEL: 03-5740-5817 (祝祭日を除く平日10時～17時)

申込締切： **7月10日 (金)** F I F 事務局必着

主催： **フューチャー イノベーション フォーラム**

協力： **聖マリアンナ医科大学、フューチャーアーキテクト株式会社**

後援： **川崎市教育委員会、品川区教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ**



ITらば「パソコン組み立てに挑戦！」


 地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行


FIF
 kids 共催

大分キッズスクール 「パソコン組み立てに挑戦！」

2009年12月5日(土)
10:00~15:30

会場：ソフィアホール(大分市)

パソコンの中は
どうなっているのだろう？
自分で組み立てながら、
学んでみよう！！



FIFkids キャラクター
“みっけ隊！”



共催：株式会社大分銀行、フューチャー イノベーション フォーラム
 協力：株式会社アセンディア、フューチャーアーキテクト株式会社
 後援：大分県、大分県情報サービス産業協会、大分IT経営推進センター、株式会社大分カード

KID調査隊「スーパーへGO! in 新潟」



【昨年の様子】

開催日 8月21日(金)
8:30~13:30



商品の準備をしたり…



アナウンスをしたり…



お買い得品を売ったり…

**ワクワクが
いっぱいだよ!**



夏の自由研究に
ピッタリなの~♪

会場

ウオエイ燕店 (燕市柚木廿六木1458)

対象

小学5~6年生 (定員20名)
※定員を超えた場合は締切後に抽選を行います。

応募方法

FIFのホームページ、もしくは
専用チラシでご応募ください。

申込締切

7月31日(金) 18時 必着

お申込み・お問合せ

フューチャー イノベーション フォーラム事務局
電話 03-5740-5817 (祝休日を除く平日10時~17時)
ホームページ <http://fif.jp/kids/>



みんなでいっしょに
スーパーの店員さん
のお仕事を体験しよう!



主催:フューチャー イノベーション フォーラム
 協力:株式会社魚栄商店、フューチャーアーキテクト株式会社
 後援:燕市教育委員会



お問い合わせ先

フューチャー イノベーション フォーラム事務局

ADD 〒141-0032
東京都品川区大崎1-2-2
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階
(フューチャーアーキテクト株式会社内)

TEL 03-5740-5817

E-mail forum@future.co.jp

URL <http://fif.jp/> (会員向け)
<http://fif.jp/kids/> (キッズ&ユース向け)

発行 2010年4月

